

## 会 議 録

### 1 会議名

令和5年度 第2回上越市男女共同参画審議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

(1) あいさつ（公開）

(2) 議事（公開）

①令和5年度取組実績及び令和6年度実施計画について

②その他

(3) 連絡事項（公開）

### 3 開催日時

令和6年2月21日（水）午後2時00分から午後3時15分まで

### 4 開催場所

上越文化会館 大会議室

### 5 傍聴人の数

なし

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：佐藤ゆかり（会長）、望月博（副会長）、畠山典子、西川美樹、泉真里、  
清水慎太郎、城下直久、仙田純也、吉村牧絵、熊田佳奈子、川野久盛、  
貝谷雅子

・事務局：総合政策部 野上部長、多文化共生課 太田課長、男女共同参画推進センター 浅野所長、小池係長、竹内会計年度任用職員

・関係課：多文化共生課 人権・同和対策室 加藤室長、広報対話課 太田副課長、人事課 白石課長、福祉課 丸田課長、生活援護課 塚田副課長、高齢者支援課 伊藤副課長、健康づくり推進課 田中課長（健康福祉部参事）、すこやかな暮らし包括支援センター 川合副所長、幼児保育課 小山課長、産業政策課 廣川副課長、学校教育課 清水副課長、社会教育課 竹内副課長

## 8 発言の内容

### (1) あいさつ

#### 【多文化共生課 太田課長】

これより令和5年度第2回上越市男女共同参画審議会を開会する。  
事務局を代表して総合政策部長の野上よりあいさつを申し上げる。

#### 【総合政策部 野上部長】

ご多用の中、多数の委員の皆様からご出席いただき、感謝申し上げます。

まずは、元日に発生した令和6年能登半島地震に関して、市内においても最大震度5強を観測し、強い揺れや沿岸部の津波により、1,300件を超える建物被害が発生したほか、国道8号線の茶屋ヶ原付近では土砂崩れが発生し、通行止めになるなど、大きな規模の被害が発生したところであり、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

一昨日の19日に市の新年度予算案が発表された。この時期は、現年度の事業の整理を行いながら、来年度に向けて様々な準備を進める時期でもある。昨年3月に第4次男女共同参画基本計画を策定し、8月に開かれた第1回会議では、基本計画に即した令和5年度の実施計画についてご審議いただき、その結果を踏まえながら、この間の取組を進めてきたところである。

本日は、基本計画の初年度である令和5年度の取組の実績見込みをお示しするとともに、それらを踏まえた令和6年度の実施計画の予定についてご審議いただきたい。

委員の皆様からは、それぞれの立場から忌憚のない意見、提言をいただき、有意義な会議としていただくことをお願い申し上げ、開会のあいさつとする。

#### 【多文化共生課 太田課長】

野上部長は、他の公務が重なっていることから、ここで退席をさせていただきます。

(総合政策部 野上部長退席)

#### 【多文化共生課 太田課長】

本日は16人の委員のうち、半数以上の12人の委員より出席をいただいております、当審議会規則第3条第2項の規定に基づき、会議は成立していることを報告する。

続いて、佐藤会長よりあいさつを申し上げます。

#### 【佐藤会長】

本日は年度末のご多忙の中、お集まりいただき感謝を申し上げます。

野上部長の話にもあったように、元日に大きな地震が発生し、上越市内においても物

理的な事象だけではなく、精神的にも負担が大きい方もおられると思う。この不安な状況がどのように続いていくのか、そんなことを考えながら本日を迎えた。実際に大きな災害が起きるたびに考えるのは、子どもや女性の生活に関わる事象の問題である。何度地震が起きても、そのことが問題になるというところをどのように考えていけばよいのかというのも、課題に挙げられると思っている。

また、この審議会に関わらせていただいてから、大学の方の仕事で学生と一緒にやっているジェンダーやセクシュアリティの関連事業に今年度、男女共同参画推進センターの方からも足を運んでいただき、全体的なところや部分的なところが少しずつ繋がっていければと思いながら年度末を迎えた。

本日は年度末のまとめの審議事項と次年度に向けての重要な議案がある。よろしくお願ひする。

**【多文化共生課 太田課長】**

当審議会規則第3条により、議長は会長が務めることとなっている。以後の進行については、佐藤会長に願ひする。

(2) 議事 ①令和5年度取組実績及び令和6年度実施計画について

**【佐藤会長】**

(2) 議事 ①令和5年度取組実績及び令和6年度実施計画について、事務局から説明願ひう。

**【男女共同参画推進センター 浅野所長】**

・資料1、資料2により説明

**【佐藤会長】**

分量が多いので、区切りながら質問や意見を承っていききたいと思う。

・分野I基本目標1の項目について、質問や意見のある委員の発言を求めるがなし。

分野I基本目標2の項目について、質問や意見のある委員の発言を求める。

**【畠山委員】**

計画に沿っていろいろな取組をされ、また、来年度に向けてということで、一生懸命取り組まれていると思う。

資料2の4頁の「家族経営協定締結による女性農業者の経営参画の推進」で現在、農業委員において女性委員は何人いるのか。増えてきているのか。

**【男女共同参画推進センター 浅野所長】**

今日は農業委員会事務局の職員は出席していないが、私の方から委員数についてお答

えする。農業委員会の一昨年の改選時に、農業委員会事務局から当センターに女性委員候補の照会があり、女性人材バンクの登録者数人を紹介した。そのうち一人が委員となり、農業委員で女性は一人いらっしやる。

**【畠山委員】**

承知した。

家族経営協定締結の状況を教えてほしい。

**【男女共同参画推進センター 浅野所長】**

こちらでは回答が難しいことから、持ちかえらせていただく。

(※後日、担当部署に確認した内容は、別紙資料のとおり)

**【畠山委員】**

承知した。

家族経営協定は、現在の農業の取組において、なかなか県の方でも進んでいない実態があり、上越市の状況を聞きたいと思った。

もう一点、同じ頁の一番下の放課後児童クラブの拡充について、日曜日・祝日に放課後児童クラブを試行開設するというので、利用者のニーズが高まっているということだと思う。この辺のところを具体的にお聞かせいただきたい。

**【学校教育課 清水副課長】**

放課後児童クラブは従来、平日の夕方と土曜日に開設してきたが、日曜日や祝日における保護者就労に係るニーズを把握するための試行の調査としての意味合いが強い。実際にどれぐらいのニーズがあるかというところは、正直つかみかねているので、実際に試行する中で、そのニーズを探るところである。

**【畠山委員】**

承知した。

日曜や祝日に働いている保護者が多いのではないかという予測からということだと思う。働き方は多様だと思うので、そういう視点で様々な状況に対応する取組はとても大事だと思う。是非進めていただけたらと思う。

**【佐藤会長】**

- ・分野Ⅰ基本目標２の項目について、ほかに質問や意見のある委員の発言を求めるがなし。
- ・分野Ⅰ基本目標３の項目について、質問や意見のある委員の発言を求めるがなし。
- ・分野Ⅰ基本目標４の項目について、質問や意見のある委員の発言を求めるがなし。

では、分野Ⅰ 男女が等しく参画するための社会環境整備、この全体を通して質問や意見のある委員の発言を求める。

### 【城下委員】

全体ということで、資料2の5頁の重点目標(3)女性の市内定住、U・Iターンのための環境整備【新設】のところで、事務局の資料説明時に「企業と若者のマッチングポータルサイトを立ち上げて」というようなことを聞いたが、具体的にもう少しどんな感じなのか聞きたい。何か非常に効果的なことなのではないかと思うので、お聞きできればと思った。

### 【産業政策課 廣川副課長】

令和6年度当初予算で新しく企画したものである。

上越市のほか、いろいろな機関や団体で企業の雇用に関するサイトを運営しているが、そこでは、地元出身の若者の皆さんなど市外から就職で地元を選んでいただけるように、各企業を紹介するページや求人の情報、或いはインターンシップの情報、そういったものをそれぞれのサイトで個別に運用していたということもあり、閲覧する側や情報を提供する側からの利便性があまりよくなかった。

そうした中で今後のことを見据えたときに、例えば、県が進める新しい働き方の一つとして短日短時間勤務、こういった新しい雇用のあり方をどんどん広めていって、最終的には企業側の人手不足の問題、・・・いろいろな家庭環境がある中で常時働くことは難しいが、スポット的に働くことは可能な方を就職につなげていくなど、地域の様々な課題に対応していくことができるよう、市で統合したポータルサイトを設けて運用する予定である。

### 【城下委員】

承知した。

### 【泉委員】

男女が等しく参画するための社会環境づくりということで、まだ始まったばかりだと思うが、いろいろな施策として研修会や講座などが実施されている。それらの参加状況を聞きたい。

### 【浅野所長】

参加率では、例えば定員30人の場合、全てが30人になるというと難しいところもある。例えば、講座によって開催日を平日にする、土日にする、あるいは保育をつけて小さなお子さんがいらっしゃる家庭でも参加しやすくするなどし、できるだけ広く周知して参加を呼びかけている。参加された皆さんからは、満足度や役立ち度などを高く評価してはいただいているが、もう少し大勢の方に参加していただけるように、またいろいろな手法を試してみたいと考えている。昨年度までは電話やFAXなどが主な申込方法だったが、今年度からいわゆる2次元コードやホームページを使った申し込みも始め

た結果、例えば日曜日の真夜中とか、早朝とかの申し込みもあるので、そういった利用者の利便性を向上するような取組も進めながら、多くの方に講座に参加していただけるよう取り組んでいきたい。

#### 【泉委員】

今の話ぶりだと、まだまだ参加数が少ないということだと思う。だからこそ長くというか、見通しを持ってそういう講座を続けていただき、市民の意識を高めていただくような努力を継続してほしいと思い、このような質問をした。頑張してほしい。

#### 【畠山委員】

資料2の9頁の男女共同参画推進センター登録団体について、令和5年度の見込みのところで、登録団体の募集を周知、そして意見交換を行う懇談会を4回開催という実績が載っている。具体的にどのような内容だったか。また、募集をかけて団体数が増えているのか。

#### 【浅野所長】

登録団体については、残念ながら増えていない。現在20団体だが、実は1団体が今年度末で活動を停止する。高齢化が進むなど、活動が停滞しているグループも正直なところある。ただ、すごく熱意を持って取り組んでいらっしゃるところは、男女共同参画推進センターの委託講座をお受けいただいて、今年度は8講座を実施させていただいた。

懇談会については、講座の取組等について、また、年4回「ウイズじょうえつからのおたより」という情報紙を男女共同参画推進センターで発行しているが、その紙面の構成等について意見を伺ったりしている。また、団体同士の意見を交換したりする場として設けさせていただいている。

ホームページや情報紙などで団体の募集をかけているが、なかなか登録団体としての申し込みが今のところ増えていない。登録団体の中でも活動の濃淡があるので、せっかく登録いただいている中、こちらの方からも団体へ活動など働きかけることをしなければいけないのではないかと、中では話している。

#### 【畠山委員】

承知した。

このように開催され、お互いの思いを伝え合うというのはとても大事なことだと思って聞いた。この男女共同参画基本計画が本当に全庁的という取組になっているので、そのところの推進がとても肝心なところになっていると思う。また、市民の皆さんの思いを汲んで進めていくということも大事なところだと思うので、引き続き進めていってほしいと思う。

そして、もう一点、目標と取組内容に関してである。目標について、数値に落とせるも

のと落とせないものがあると思うが、できるだけ評価基準として数値が入ると評価しやすいのではないかと。我々も見るときに推進の様子がよくわかると思う。そして、結果としての取組内容も数値で出してもらえば、数値目標を掲げた意味があると思うので、そのようにしてもらえたらよいと思う。

**【浅野所長】**

次の令和6年度に開催する審議会で令和5年度の振り返りをさせていただく際は、できるだけ数値目標があるところについては、数値で結果を報告させていただきたいと思う。

**【佐藤会長】**

・ほかに質問や意見のある委員の発言を求めるがなし。

次に分野Ⅱ配偶者等からの暴力防止・被害者支援に入る。

分野Ⅱ基本目標1の項目について、質問や意見のある委員の発言を求める。

**【畠山委員】**

資料2の13頁の「被害者への安全確保のための情報提供」ということで、女性相談員は、困難な女性を支える支援として、これを市町村で対応するということはとても大事なことだと思う。上越市では女性相談員の取組があり、よいと思う。女性相談員は3人ということで、困難な女性に対応するための専門の方がおられるのか。

**【浅野所長】**

当市の女性相談員の場合、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行の前から、いろいろな悩みの相談に応じている。ただ、これからより広く自立支援にもつなげていくためには、これまで以上のマネジメント、専門性が必要になるので、女性相談員3人のうちの1人を統括女性相談員として、指導的な業務を担っていただく形を考えている。

**【畠山委員】**

承知した。

相談員の充実について、よいことだと思う。市の職員研修など全庁的に取り組んでいる。先ほど泉委員からも話があったが、繰り返し、市民の皆さんや職員へ働きかけていくことがとても大事だと思う。

また、困難な女性の支援については、担当の方だけではなく、全庁的に職員の皆さんにそういう意識を持ってもらい、また、どこにどういう窓口があり、困難を抱えた方が繋がっていくかはわからないと思うので、全庁的に意識を持って進めてほしいと思う。

**【浅野所長】**

当市では庁内の連絡会議の体制も整っているため、関係課の担当職員が出席する連絡

会議の際に、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行に係る研修ができるような形で、新年度に対応したいと考えている。

【佐藤会長】

- ・分野Ⅱ基本目標1及び基本目標2の項目について、質問や意見のある委員の発言を求めるがなし。
- ・全体を通して質問や意見のある委員の発言を求めるがなし。  
市では本日の様々な意見を踏まえ、進めていただければと思う。

(2) 議事 ②その他

【佐藤会長】

(2) 議事 ②その他に入る。事務局から何かあるか。

【浅野所長】

特になし。

【佐藤会長】

今年度最後の会議なので、委員の皆さんから一言ずつお願いしたいと思う。

【畠山委員】

資料2にも記載されているが、1月31日に上越市職員を対象とした男女共同参画に関する研修会の講師をした。上越市は具体的に職員への働きかけ、男女共同参画の事業を何回行う等、具体的な取組をしっかりとされていると思う。これからも具体的な取組を確実に行っていただき、それが推進につながることを期待したい

【西川委員】

今年度初めて男女共同参画審議会委員となった。8月に初めて出席し、今回の会議で今年度の取組をどのようにされたのか具体的に知ることができた。私の仕事柄、子育て支援というところで、大学の教員として学生への教育につなげていたりしている。上越市は本当に子育て支援に活発に取り組まれていると思う。上越市に来て、まだ2年目だが、以前住んでいた居住地よりもとても積極的なところであることを知ることができた。このような上越市の取組を周知していくことが、事業を拡大していくために何よりも重要だと思っているので、いち委員としてはそういう活動もしていきたいと思っている。

【泉委員】

学校に勤めており、学校の方でもコロナ禍を経て、随分働き方改革が進んだと感じている。そんな中、今回の審議会に関連して、例えば男性が「育児休暇をください」とか



「育児休業をとりたいと考えている」みたいなことも、普通に聞かれるようになってきている。以前なら「ちょっと珍しいな」というようなことが、普通になってきている。そういうことが加速的にこれから変わっていくのが、この第4次男女共同参画基本計画の期間ではないかと思う。女性ではなく、男女参画というのが大事だと思っている。

#### 【清水委員】

私は仕事柄ハローワークということで、上越のハローワークに関しては、県内でも3ヶ所のうち1ヶ所のマザーズコーナーがあるハローワークとなっている。

今年度は市役所の協力を得ながら、再就職支援セミナーをコロナ禍明けにやっと開催できた。初の試みとしては、先般1月にオンラインを使ったセミナーも開催した。次年度はそのオンラインを使ったセミナーや、市役所の協力を得ている再就職支援セミナーなども是非拡充したいと考えている。是非ご協力をお願いしたいと思うので、引き続きよろしく願います。

#### 【城下委員】

上越の法務局で総務課長をしている。昨年4月に長野県から来て1年経った。法務局でも人権擁護の立場から女性を暴力から守るため、毎年11月の2週間「女性に対する暴力をなくす運動」が行われたり、人権擁護の立場としても、もしできることがあれば、というふうに思っている。勉強させていただいた。

#### 【貝谷委員】

取組は細部にわたってされているにもかかわらず、頭でわかっているもやはり意識のところで戻ってしまう。もっと浸透していくように頑張りたい。

#### 【川野委員】

男女の平等関係というのは、いろいろな教科書を見ても出ていない。それを知りたくて10年前に審議会に参加させてもらい、いろいろ勉強したいと思ったが、今日までそのまま引きずっている。男女共同参画の根底には、人間の平等があるのではないかと一生懸命勉強しているが、まだわからない。わかる人がいれば教えてほしいと思う。

また、こうやって上越市だけで話しているが、今は政治、文化、社会など、上越市だけではない。上越市に住んでいても、上越一帯、或いは新潟県に関係する、日本国に関係するということになると、妙高市や周りの市がどういう状態になっているか知りたい。上越市だけで騒いでも、しょうがないのではないかと時々考えることがある。共同参画の話は、周りの市と協働しながらやらないと、うまくいかないのではないかと考えている。周りの市とやっているというのは、おそらく上越市のことだからやっていると思うが、もし話があるのなら、そういうことの話もしてほしいと思う。

もう一つ、技術が今すばらしく進歩している。要するにAIなどがどんどん発達して

くると、共同参画を根本的に考えなければいけない時期が来るのではないかと考えている。そういう点はこの中に考慮されているのだろうかと思って、そういう話がどこかで聞けたら聞きたいと思っている。

#### 【熊田委員】

南本町小学校PTA会長と上越市小中学校PTA連絡協議会の代表として来ている。私自身も子育て支援で児童クラブなどを利用している。支援してもらい助かっている面もあり、またコロナ禍を経て、会社でもリモートワークなどをさせてもらい、周りの方々にも協力していただき仕事をしている。上越市でもこのような取組を沢山されているということで、もっとアピールしてもよいのではないか。おそらく知らない人もたくさんいらっしゃると思うので、どんどんアピールすれば、もっと利用され、便利に使っていただける方が増えると思う。

#### 【吉村委員】

私立保育園協会の代表として前年度から委員をしている。来年度は別の者が委員をさせていただくことになると思うが、2年間参加し、上越市のいろいろな取組を改めて知ることができた。私の立場としては、やはり子供への意識啓発というところにあてはまる仕事をしているが、資料を見て、できてないなと思った部分もあるし、大分進んでいることもあるというふうに感じている。

また、我々の法人で母子支援施設も運営しているので、県外や市外からDVで入ってこられる親子の方々がおられ、そのお子さんを我々の園でお預かりするという支援の立場としても、いろいろ大変な思いもしながら受け入れている状況である。そういう支援がずっとこの先、続いていけばよいと思っているが、なかなか難しいところもあるので、上越市の方で協力していただきながら、私どもも頑張っていきたいと思っている。

#### 【仙田委員】

私どもはJAで、多くの女性職員に支えられて事業を運営しているところであり、育休取得率は100%の事業体である。ワーク・ライフ・バランスでは、ライフの方に随分と寄り添うことができていると思っており、育休からの復職についても時間短縮勤務でしっかりと対応しているが、100%その個人個人に寄り添いきれているかというのは、少クエッションというところもあり、長い間仕事をお休みしているとき、また復職したときも、やはりそのキャリアプラン、自分がどういうふうに将来、職員として成長を描いていくかということが、まだ具体的にこう指し示せないパターンが結構ある。したがって、今後はワーク・ライフ・バランスにしっかりと頑張っ取り組むというところであるが、働くというところの観点でも、女性にもう少し寄り添いをしていかなければ、と思ったところである。

そして、JAは3月1日に合併を控えている。現在、上越市と妙高市を管内としているが、3月から糸魚川市ということで、上越地方3市が一つの事業体になる。働く職員についても、上越市在住の者もいれば、糸魚川市、妙高市それぞれの行政の影響、居住ということになる。

先ほど委員もおっしゃっていたが、やはり事業体としてしっかり頑張っていこうと思っているが、後はその上越地域として行政が一つまたは一枚岩となって、より一層活性化していくことが望まれるのではないかと考えている。

#### 【望月副会長】

13区の町内会長代表をしている。今日の資料を作るには大変な膨大な資料をまとめられ、大変だったと思う。畠山委員からも話があったが、できれば数値で示してもらいたいようなものがあると、誰が見てもこの数値はどうかのだ、というふうにわかると思う。文章で書くとなかなかわからない。文章だと幅ができてしまうので、できれば数値にさせていただくのが一番よいと思う。もちろんできないものもある。

川野委員がAIの話がされていたが、AIがどんなになっても、おそらくDVは機械やコンピューターでは解決できないと思う。アメリカの原子力委員会委員長が、どんなに機械が優秀でも最後は人なのだ、と日本に来た時おっしゃっていた。なので、やはり最後は人なのだと思う。

なにがしかの、私たちがいることでそれを解決できて、男女差が縮まってくる。男女差が縮まってくるということ自体が、既に男女差があることを認めている。しかも、施策の範囲が多岐にわたり、しかも分野が広いので、一朝一夕に解決できる問題ではおそらくないと思う。総合力が試されると思う。

おそらく役所の皆さんは新潟、長岡、糸魚川、妙高と、こういう役所の皆さんと話をしながら、我が市はどうしたらよいかということを探索されて、資料のように思っているのだと思うが、引き続き、本当に一朝一夕にできることではないし、よいことはよい方向に持っていくように、これからも続けていただければと思う。時間がかかるからとやめたらそれで終わりである。よろしくお願ひしたい。

#### 【佐藤会長】

議事に引き続き、委員の皆さんから一言ずつ頂戴した。様々な意見や提案などがあった。事務局では、委員の皆さんの意見等を踏まえ、今後の計画づくりや事業実施に取り組んでいただけたらと思う

進行を事務局に返す。

#### 【多文化共生課 太田課長】

円滑な進行に感謝する。

委員の皆さんの意見等、事務局として参考にしていきたい。

### (3) 連絡事項

【多文化共生課 太田課長】

(3) 連絡事項に入る。事務局から連絡願う。

【浅野所長】

今年度の審議会は今回が最後となる。委員の皆さんには、来年度の末までの2年間の任期でお願いしているところだが、異動等で現職を離れられる方もいらっしゃると思うので、そうなる委員の交代となる。そうでない皆さんにおかれては、引き続きよろしく願う。

また、男女共同参画推進センターでは、登録団体の皆さんと協力してセンター講座を開催している。市の広報やホームページ等でお知らせしているので、是非、委員の皆さんからもご参加いただければと思う。

【多文化共生課 太田課長】

閉会にあたり、望月副会長から一言ご挨拶願う。

【望月副会長】

いろいろなところで男女共同参画ということと同時に女性の参画を促している。議会はもちろん、農業委員会も地域協議会も女性の参画という話をしており、女性の意見を聞きたい、今までそういう立場にあった人の意見が聞きたい、こういうことだと思うが、なかなか声が上がってこない。市議会も地域協議会も任期を迎える。是非、皆さんが立候補しても結構であるし、皆さんの周りにそういう方がおられれば、是非、推薦をしていただき、本人をその気にしていただいて、こういう場に参画していただくということが一番これからの市にとって、助かることではないかと思っている。

行政は行政でしっかりやっていただく、民間は民間でしっかりやる、こういうことでないと、なかなか良い方向へいかない。しかも税収が落ちているわけで、精を出していかないと、よい方向にはおそらくいかないと思う。

委員をお辞めになる方も、知り得た情報をお持ち帰りになって、自身の立場で地域を考えるとということにしていただければ、何がしかのこの会の役割が果たせるのではないかと思うので、よろしく願います。

【多文化共生課 太田課長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 多文化共生課 男女共同参画推進センター

TEL: 0 2 5-5 2 7-3 6 2 4 (直通)

E-mail: d-sankaku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。